

ヤクルト体操

増尾駅近くに、ほのぼのプラザますおという柏市の介護予防センターがある。介護予防で、いつまでも高齢者がいきいきと過ごせるよう、それぞれのニーズに合わせた催しが行われている。その一つになつかしい紙芝居と抹茶の集いがある。逆井中の子ども・学校支援ボランティア 十色咲かそう会が母体になっていて、ゆたんぼのようにほっこりした集いになっている。



ヤクルト容器に米を入れ接着剤でつなぎ、カシヤカシヤカシヤ



みんなで歌う。唱歌など懐かしいもの。紙芝居を見る。柏の民話が会員の手で描かれたもの。舞踊の先生が踊ってくれるときもある。

ヤクルト体操が始まったとき、中に米二十グラムを入れ、容器の口を接着剤でくっつけるという工作をした。下の写真真のように素朴なものでできる。これにそれぞれが気に入ったものを貼り付け、個性豊かなものが誕生する。

振り回すだけでもいい。ここでは体操のやり方が決まっていって、みんなで息をはずませる。カシヤカシヤという軽快な音が楽しい。心がうきうきするような、自家製の楽器である。

このような工作は毎回違う。楊枝入れだったり、手紙入れや生け花だったりする。

終わりにはお菓子がでて、抹茶が振舞われる。月一回(第三水曜日)だけれど、また元氣にお会いしましょう、というお別れになる。

連絡先 七二七三二四八〇三
武井征子